

産技研と共同研究をしてみませんか？

○共同研究の特徴

地方独立行政法人産業技術研究センター（産技研）では、企業・大学とで経費と人材を互いに分担し合い、新産業や新製品を創出する「共同研究」を実施しています。

大学や試験研究機関が有するノウハウ（シーズ）を活用することは、新製品・新技術の開発を目指す中小企業にとって、大きなメリットになります。「共同研究」では、産技研・企業との組み合わせだけでなく、産技研・企業・大学など様々な形態で研究を実施していますので、より質の高い研究成果を得ることができます。また、企業ニーズから始まる研究テーマが多く、特許・製品等の成果に結びつきやすいことも「共同研究」の特徴の一つです。

○「共同研究」の成果事例

「共同研究」から毎年、多くの新製品が生まれています。下記にその事例を示します。

【事例 1】鉛フリー絶縁ガラスによる電子部品へのコーティング（株日本珪瑯釉薬）

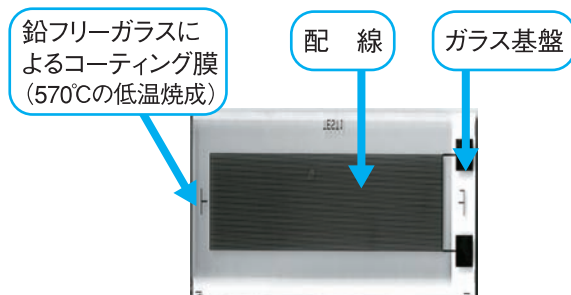


図1 電子製品の基板の一部に使用される成果品

【事例2】マイクロ放電加工による微細工具の開発（日本電子工業(株)他1社/東京農工大学）

工具直径15 μ m（針の先端が加工工具）



図2 完成した数ミクロンの工具

【事例 3】電気メステスタの開発（エクセル(株)）

容積30%減
重量20%減



図3 電気メステスタ

○18年度 共同研究テーマ（第2回）募集案内

18年度 共同研究テーマ（第2回）の募集をいたします。今年度からは募集回数が4月、9月の2回／年（昨年まで1回／年）となり、スピーディな技術支援が行えるようになりました。

◆申請資格

新製品・新技術開発、新分野への進出等を企画している都内中小企業・団体及び大学

◆共同研究の要件

①新規性、緊急性に富み、質の高い研究内容で実用化の可能性があること。

②共同して開発研究を行うことによって、より成果が期待できるものであること。

◆経費の負担

共同研究費用は相互がそれぞれ負担します。ただし、産技研が負担する経費は、各テーマあたり150万円を限度とする予算範囲内とします。

◆テーマ予定数と研究期間

第2回 20テーマ程度

平成18年10月16日～平成19年8月31日

◆事前協議および申請手続き

産技研の担当研究グループと事前協議のうえ、所定の共同研究申請書を提出していただきます。なお、産技研で対応可能な技術は、材料、機械・加工、電気・電子、IT、福祉、分析、環境、繊維材料、アパレル、放射線、ナノテクノロジー、システムデザイン等、広範囲にわたっています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

(<http://www.iri-tokyo.jp/>)

◆研究テーマの選定

書類および面接等審査により選定します。

◆募集期間（第2回）

平成18年9月4日（月）～平成18年9月15日（金）

郵送による受付は致しません。申請書をお持ち下さい。

◆問い合わせ先

事業化支援部 交流連携室 共同研究担当
電話 (03)3909-2376

